

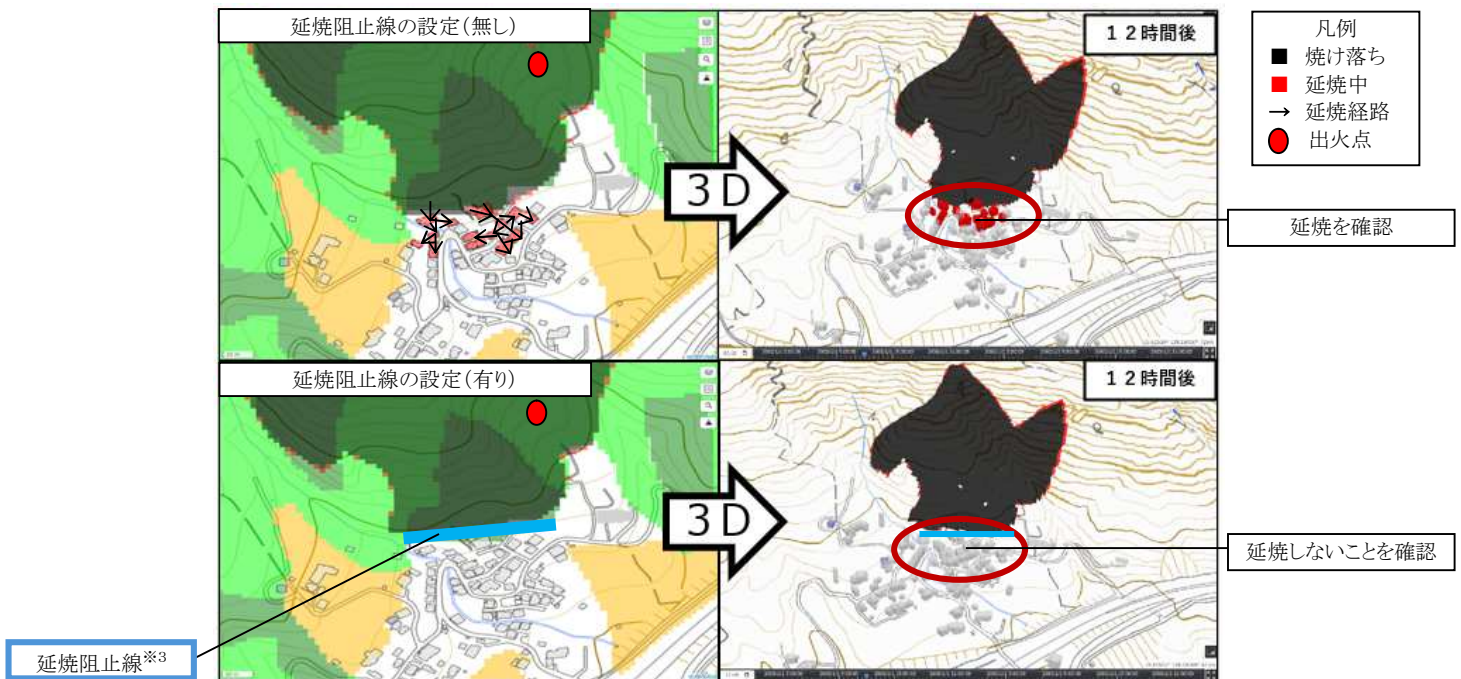
「全国初」新たな延焼シミュレーターを整備しました

自治体として全国初^{※1}、市街地と山間部をシームレスに繋ぐ延焼の予測が可能となる新たな延焼シミュレーターを本市で整備しました。（運用開始：令和7年8月頃予定）

1 新たな延焼シミュレーターとは

現在は、総務省消防庁消防大学校消防研究センターが開発した2Dのシミュレーターを提供いただきシミュレーションを行っています。

新たな延焼シミュレーターでは、^{プラットフォーム}PLATEAU^{※2}の3D都市モデル（地形、建物の高さ、構造等の情報を基に、仮想空間上で立体的に街を再現したモデル）や植生の情報等を活用することで、より現実に即した延焼の予測が可能となりました。



2 期待される効果

災害時に、被害予測、必要部隊数の決定の参考にする等、効果的な災害活動に役立てるほか、市民等が実施している自主防災訓練等における指導に活用してまいります。

※1 本市調べ

※2 国土交通省が様々なプレイヤーと連携して推進する、日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクト

※3 火災が拡大するのを防ぐために設ける線（消防隊のホースライン）

問合せ先

○延焼シミュレーターに関すること

警防課 山縣、藤田

直通電話 042-751-9140

○3D都市モデルに関すること

都市計画課 森、三村

直通電話 042-769-8247